教授・准教授・講師用

記載上の注意事項

１．履歴書（様式１－１）

①　学歴は，大学入学以降の学歴，インターン歴，研究生などの研究歴を記入して下さい。

職歴には，給与関係を除いて下さい。なお，履歴の空白期間には，説明（自主研修等）をつけて下さい。研究歴及び教育歴には，所属講座・部門等まで記入して下さい。

②　免許及び資格には，医師免許，歯科医師免許，認定医，専門医，指導医，標榜医等について，名称，登録番号及び取得年月日を記入して下さい。

③　学位には，授与された大学名も記入して下さい。また，大学院の課程修了による学位は大学名の後にＡと，論文提出による学位はＢと記入して下さい。

④　学会活動等は，所属の学会名，役職名等を記載して下さい。

⑤　賞には，学術活動による表彰を記入して下さい。

⑥　年の表示については，西暦で記入して下さい。（以下共通）

　⑦　過去に学生等に対するセルシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を賞罰欄に必ず記入して下さい。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。

２．業績目録（様式１－２）

①　Ａ～Ｆの各項について記入して下さい。（目録の１枚目から順に頁を付して下さい。）

②　目録Ａ～Ｄには，既に刊行されたものと，受理（accept）されて公刊予定となったもの（印刷中，in press）のみを記入して下さい。

（注１）記載は，欧文・和文に分けて，それぞれ発行年順に記入して下さい。

（注２）記載方法は，記載例を参照して下さい。本人には，アンダーラインを付して下さい。

（注３）共著者名は，業績に記載してある順に全員記入して下さい。

Ａ．原著とは，著者の研究成果をまとめたもので，referee journalに記載された論文を指します。（注）学位論文に相当する原著の番号を○印で囲って下さい。

Ｂ．症例・治験・手技の項には，Ａ，Ｃ，Ｄのいずれにも属さないものを記載して下さい。

Ｃ．総説には，展望・講座・解説等が含まれます。

Ｄ．著書には，翻訳が含まれますが，その場合は（翻訳）と記して下さい。

③　Ｅ．学会発表については，ａ．特別講演・シンポジウム等，ｂ．一般発表（最近５年間の発表総数と主要なもの１０題以内）をそれぞれ欧文・和文に分けて年代順に記入して下さい。なお，講演要旨或いは抄録の掲載記録は，行末に括弧を付けて記入して下さい。

④　Ｆ．研究助成金取得状況については，文部科学省（文部省）・厚生労働省（厚生省）・その他（共同研究費、受託研究費（治験含む）、財団等の助成金等）に分け，また，代表研究者か分担研究者かを明記して下さい。なお，研究報告書は，括弧内に記入して下さい。

３．研究業績の概要と抱負（様式１－３）

　　・これまでの研究業績を説明するものとし，その際に「業績目録」に記載した関連する論文等の番号を引用する。抱負と合わせＡ４用紙２枚以内として下さい。

４．教育実績の概要と抱負（様式１－４）

・これまでの教育実績を説明するものとする。抱負と合わせＡ４用紙１枚以内として下さい。

５．診療実績の概要と抱負（様式１－５）

　　・これまでの診療実績を説明するものとする。抱負と合わせＡ４用紙２枚以内として下さい。

６．管理運営に関する実績（様式１－６）

　　・これまでの所属機関における管理運営上の実績に関する事項を記入して下さい。

（注）１．上記書類は，学内に公開されることがあります。

２．上記書類は，原則としてＡ４版とし，ワード等を用いて作成して下さい。

別紙様式１－１

履歴書

ふりがな ち　　　　ば　　　　た　　　　ろう

氏名・性別 千　　葉　　太　　郎　　　　　　　男

生年月日 XXXX年X月XX日

現職 ○○大学准教授大学院医学研究院（○○学）

学歴及び職歴

xxxx年 4月 1日 ○○大学医学部入学

xxxx年 3月23日 ○○大学医学部卒業

xxxx年 6月 1日 医員（研修医）（○○大学医学部附属病院○○科）（xxxx年 3月30日まで）

xxxx年 4月 1日 ○○大学大学院医学薬学府博士課程　入学

xxxx年 3月25日 ○○大学大学院医学薬学府博士課程　修了

xxxx年 4月 1日 研究生（○○大学医学部○○学講座）（xxxx年 3月31日まで）

xxxx年 4月 1日 医員（○○大学医学部附属病院○○科）（xxxx年 3月30日まで）

xxxx年 4月 1日 ○○大学助教医学部附属病院（○○科）

xxxx年 9月 1日 アメリカ合衆国○○大学医学部○○学講座　visiting fellow

（xxxx年 6月30日まで）

xxxx年7月 1日 ○○大学講師医学部附属病院（○○科）

xxxx年 4月 1日 ○○病院○○科医長

xxxx年 4月 1日 ○○大学講師医学部（○○学講座）

xxxx年 5月 1日 ○○大学准教授大学院医学研究院（○○学）

xxxx年 ４月 1日 ○○大学准教授大学院医学研究院（○○学）

免許及び資格 医師免許（登録番号　123456号）　ＸＸＸＸ年Ｘ月Ｘ日

第一種放射線取扱主任者（登録番号　78910号）　ＸＸＸＸ年Ｘ月Ｘ日

日本内科学会認定医（登録番号　111213号）　ＸＸＸＸ年Ｘ月Ｘ日

日本循環器学会専門医（登録番号　141516号）　ＸＸＸＸ年Ｘ月Ｘ日

学位 博士（医学）（○○大学Ａ）　ＸＸＸＸ年Ｘ月ＸＸ日

学会活動等 日本薬理学会評議員，日本生理学会員，日本神経科学会専門委員

International Brain Research Organization会員

編集委員：蛋白質・核酸・酵素，Journal of Biological Chemistry

賞罰 日本細菌学会黒屋奨学賞（○○○に関する研究，ＸＸＸＸ年）

日本電子顕微鏡学会瀬藤賞（○○○に関する研究，ＸＸＸＸ年）

別紙様式１－２

業績目録

Ａ．原著

①．Chiba T. Electron microscope observations on the fusion of chick myoblasts in vitro. J Cell Biol. 1980;48:128-42.

２．Kono M, Ishikawa K, Chiba T. Acetylcholine sensitivity of skeletal muscle cells differentiated in vitro from chick embryo. Brain Res.1987;25:216-9．

３．Grant S, Kobayashi H, Chiba T. Isolation and culture of motoneurons from embryonic chicken spinal cords. Proc Natl Acad Sci USA.1991;76:3537-41.

４．Suzuki N, Chiba T, Bader D. Molecular cloning and expression of chicken cardiac troponin T. Cir Res.1996;65:1246-51.

５．Hastings KEM, Koppe RI, Marmor E, Chiba T, Aoki N. Structure and developmental expression of troponin I isoforms. J Biol Chem. in press

６．野田雄二，唐沢義一，千葉太郎，工藤栄一 食道癌手術視野からみた気管支動脈の走行に対する解剖学的検討．日外会誌　1990;94:456-65.

７．小林秀雄，千葉太郎，石川洋一 右開胸食道癌根治手術時における上縦隔リンパ節の郭清可能範囲に関する研究．日消外会誌　1997;26:2134-9.

８．中野　浩，伊藤浩二，千葉太郎，和田幸平 下肢刺激SEPの随意運動による影響．臨床脳波．

　　印刷中

Ｂ．症例・治験・手技

１．Kawai A, Ishige T, Chiba T, Murayama W. Malignant exophthalmos associated with multiple myeloma. Inter Med. 1995;32:875-8.

２．Chiba T, Fujita M. A case of renovascular hypertension: segmental hypoperfusion resulting from single vessel stenosis in the presence of bilateral duplex renal arteries. Jpn Cir J. 1999;56:620-2.

３．中野俊一，千葉太郎，橋本三郎 上皮小体の癌と腺腫の異時性重複と思われる１症例．　耳頭頸1997;65:647-52.

Ｃ．総説

１．Chiba T. Brain damage due to surgical injury to the cerebral vein. Clin Rev Neurosurg. 1996;3:191-5.

２．千葉太郎 FACSを用いた細胞間接触とCa2+ シグナルの検索．実験医学1997;11:93-8.

Ｄ．著書

１．Peltz S, Chiba T, Jacobson P. mRNA turnover in Saccharomyces cerevisiae. In: Control of Messenger RNA Stability ed. Brawerman G, Belasco J, San Diego, CA: Academic Press Inc. 1995:291-327.

２．Woolford J, Chiba T, Warner R. The ribosome and its synthesis. In: The Molecular and Cellular Biology of the Yeast Saccharomyces: Genome Dynamics, Protein Synthesis and Energetics. vol.1, ed. Broach JR, Pringle JR, Jones EW, Cold Spring Habor, NY: Cold Spring Habor Laboratory Press, 1997:587-626.

３．千葉太郎 心肺運動負荷テスト．運動と呼吸，谷村真一編，南江堂，東京，1996:1-10.

４．野口進一，千葉太郎 レセプター遺伝子の発現と合成，レセプター：基礎と臨床，今井和夫編，朝倉書店，東京，1997:92-105.

Ｅ．学会発表

ａ．特別講演・シンポジウム

１．Chiba T, Kawai A, Ishige T. Fetal cells in maternal blood: frequencies measured by the polymerase chain reaction（PCR）and in situ hybridization.8th International Congress of Human Genetics Symposium.1996（Am.J.Hum.Genet.Suppl.1996;49:210-1.）

２．千葉太郎 XYZ症候群と精神障害．第85回日本解剖学会総会．1997（解剖誌.1998;10:379-80.）

ｂ．一般発表（最近５年間の発表総数○○題，うち主要なもの１０題以内は以下のとおり）

１．土屋伸也，千葉太郎 食道静脈瘤の外科的治療．第81回日本消化器病学会．1996（日消会誌. 1997;54:46.）

２．田辺英男，大竹昌彦，千葉太郎，河野雅敏 食道静脈瘤外科的治療における腹水の意義と管理．第82回日本消化器病学会．2000（日消会誌. 2000;56:345.）

３．千葉太郎，野口進一 運動初期の換気亢進の検討．第71回日本生理学会大会．2000（日生会誌.印刷中）

Ｆ．研究助成金取得状況

ａ．文部科学省（文部省）科学研究費

一般研究（Ｂ）「遺伝子発現，蛋白質合成及び構造形成の機構」研究代表者，1995-1996年

一般研究（Ａ）「○○○に関する細胞生物学的研究」研究代表者，1997-1999年

試験研究（Ｂ）（2）「○○○に関する研究」研究分担者（研究代表者　○○大学　大沢三郎）,　1994-1995 年

重点領域研究（2）「○○○に関する基礎的研究」研究分担者（研究代表者　△△大学　齋藤五郎）,　1997-1999 年（1997・1998・1999年度文部省科学研究費補助金重点領域研究（2）研究報告書. 2000:708-11.）

ｂ．厚生労働省（厚生省）科学研究費

精神・神経疾患研究委託費「○○○に関する研究」研究分担者（研究代表者　××大学　小杉六郎），1994-1996年（厚生省精神・神経疾患研究委託費平成元年報告書.1995:63-7. 1995年報告書.1996:50-5. 1996年報告書.1997:53-8.）

ｃ．その他（共同研究費、受託研究費（治験含む）、財団等の助成金　等）

　受託研究費　「○○○○○についての研究」研究代表者（△△製薬）

Muscular Dystrophy Association "Neuronal control of postsynaptic muscle protein". 1997-1999. （Annual Report.1997:105-10,1998:150-5, 1999:161-5.）

○○記念財団自然科学研究「○○○に関する研究」研究代表者（○○記念財団自然科学研究報告書1997:187-9.）

別紙様式１－３

３．研究業績の概要と抱負

様式１－４

４．教育実績の概要と抱負

様式１－５

５．診療実績の概要と抱負

様式１－６

６．管理運営に関する実績（所属機関における管理運営上の実績に関する事項を記入）

　2019年4月　〇〇大学薬学部　学部入試委員、教材開発委員（2020年3月まで）

　2017年4月　〇〇大学薬学部入試委員（2018年3月まで）

　2016年4月　〇〇大学全学ハラスメント相談委員（2017年3月まで）